

2022年2月6日 午前礼拝
「パウロのメッセージ新」 説教:大木英雄牧師

【引用聖句】使徒 13:27~32

27 エルサレムに住む人々とその指導者たちは、このイエスを認めず、また安息日ごとに読まれる預言者のことばを理解せず、イエスを罪に定めて、その預言を成就させてしまいました。

28 そして、死罪に当たる何の理由も見いだせなかったのに、イエスを殺すことをピラトに強要したのです。

29 こうして、イエスについて書いてあることを全部成し終えて後、イエスを十字架から取り降ろして墓の中に納めました。

30 しかし、神はこの方を死者の中からよみがえらせたのです。

31 イエスは、ご自分といっしょにガリラヤからエルサレムに上った人たちに、幾日もお現われになりました。きょう、その人たちがこの民に対してイエスの証人となっています。

32 私たちは、神が先祖たちに対してなされた約束について、あなたがたに良い知らせをしているのです。

【説教要約】

(A)パウロが宣教に行った場所

使徒 13:13, パウロの一行は、パポスから船出して、パンフリヤのペルガに渡った。ここでヨハネは一行から離れて、エルサレムに帰った。

ヨハネは宣教の厳しさについていけなくなった。これが第2次伝道旅行でパウロとバルナバが分かれた原因となった。

使徒 13:14,15

(B)パウロのメッセージの導入

使徒 13:16, そこでパウロが立ち上がり、手を振りながら言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を恐れかしこむ方々。よく聞いてください。

神を恐れる = み言葉に従う。

神様はアブラハムを選ばれました。イサク、ヤコブ、ヤコブの子孫はエジプトに移住し、エジプトで400年間奴隷とされましたが、20歳以上の男子が60万人、女子も60万人、子供も入れると200万人以上になりました。

神様は1歳の雄の子羊の血を2本の門柱と鴨居に塗ることで、イスラエル人を守り、血を塗らなかったエジプト人の長男はみな殺されました。そして紅海の中に道を造り、イスラエル人を救われました。そして40年間荒野で神様に従う訓練をされ、カナンので7つの異邦人を滅ぼしました。エジプトでの奴隷状態が400年、荒野での訓練が40年、カナンでの戦いが10年、合計450年。荒野での訓練とカナンでの戦いの時のリーダーはヨシアとカレブでした。

ヨシアとカレブが死んだ後は、「さばきつかさ」が民のリーダーとなりました。それから民は異邦人のように王様を欲しがったので、神様はベニヤ民族の中からサウルを王とし、40年間民を治めました。しかしサウルは神様の命令に従わなかったので、神様はサウルを退けダビデを王として選ばれました。

神様はダビデの子孫からイエス様を生まれさせたのです。バプテスマのヨハネもイエス様のことを紹介しています。ここまでがパウロのメッセージの導入です。

パウロのメッセージを聞いているイスラエル人は、イスラエルの歴史ですからイスラエル人はすべて理解できました。しかし日本人はイスラエルの歴史を知りません。聖書が神の言葉であることも知りません。家内は入川さんから個人伝道を受け、いやいや聞いていましたが、最後に入川さんが開いた

I ヨハネ 4:10, 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

「神が私達を愛し」が家内の心に飛び込んできたのです。

家内の母は家内を愛してくれていましたが、家内の母の愛は自分の願望を押し付けてくる愛でした。家内はそのようなものは愛ではないと思い、自分を愛してくれる人は一人もいないので死のうと思っていましたが、神様が愛してくださっていることを知って、その神様を信じたのです。これは奇跡です。

私の場合は教会にトイレを借りに行った事がきっかけでイエス様を信じたのです。これは奇跡です。パウロのメッセージの導入部分を聴けばイスラエル人であればだれでもわかります。しかし日本人に語る時には導入部分がないのです。いきなりイエス様のことを語っても木に竹を接ぐ様なことになるのです。

鄭先生のメッセージのように「クリスチャンを見たらイエス様がわかるように」クリスチャンがなることです。しかし私を見てもイエス様がわかるようにはなかなか出来ません。聖書を読めば読むほど私とイエス様は違いすぎるのです。まずどこが違うか、私は自己中心であり、イエス様は自己中心ではありません。これが決定的な違いです。しかし神様は、

創世記 1:26, そして神は、「われわれに似るように、われわれのかたちに、人を造ろう。そして彼らに、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地をはうすべてのものを支配させよう。」と仰せられた。

しかし神様は「われわれに似るように、われわれの形に、人を造ろう」
われわれとは父なる神、
子なる神 = イエス様、
聖霊なる神、すなわちイエス様に似るように造られたのです。

創世記 2:17, しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

アダムとエバは悪魔の誘惑に負けて、善悪の知識の実をとって食べた結果、イエスさまとは似ても似つかないようになってしまいましたが、イエス様が十字架で私たちの罪の身代わりとして死んでくださったことにより、イエス様を信じることによって

ヨハネ 1:12, しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

神の子なる特権が与えられました。イエス様の子供ですから、イエス様に似る可能性があるのです。

エペソ 5:18, また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。

「聖霊に満たされる」ということは、

I コリント 3:16, あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。

聖霊様が私たちのうちに宿っておられることを感謝すればよいのです。「聖霊様が私のうちに宿っておられることを感謝します。」と感謝することです。相すれば

II コリント 3:18, 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

クリスチャンが御霊に満たされるためには、「聖霊様が私のうちに宿っておられることを感謝します」と感謝すればよいのです。

(C)パウロのメッセージも中心

使徒 13:27, エルサレムに住む人々とその指導者たちは、このイエスを認めず、また安息日ごとに読まれる預言者のことばを理解せず、イエスを罪に定めて、その預言を成就させてしまいました。

イエス様を罪に定め、1度も罪を犯したことないイエス様をどうやって罪に定めるのだ。そんな事は不可能です、しかし悪魔はイエス様を罪に定めたのです。

マタイ 26:63, しかし、イエスは黙っておられた。それで、大祭司はイエスに言った。「私は、生ける神によって、あなたに命じます。あなたは神の子キリストなのか、どうか。その答えを言いなさい。」

マタイ 26:64, イエスは彼に言われた。「あなたの言うとおりです。なお、あなたがたに言うておきますが、今からのち、人の子が、力ある方の右の座に着き、天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見るようになります。」

マタイ 26:65, すると、大祭司は、自分の衣を引き裂いて言った。「神への冒瀆だ。これでもまだ、証人が必要でしょうか。あなたがたは、今、神をけがすことばを聞いたのです。」

マタイ 26:66, どう考えますか。」彼らは答えて、「彼は死刑に当たる。」と言った。

マタイ 26:67, そうして、彼らはイエスの顔につばきをかけ、こぶしでなぐりつけ、また、他の者たちは、イエスを平手で打って、

悪魔は大祭司を用いて「あなたは神の子キリストなのか、どうか」
イエス様は「あなたのいう通りです」これは悪魔はみ言葉を用いて

出エジプト記 20:7, あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。主は、御名をみだりに唱える者を、罰せずにはおかない。

御言葉を用いてイエス様を罪に定めたのです。

「あなたは神の子キリストか」という質問に対して「あなたのいう通りです」と答えられたのです。これは私に「あなたは大木英雄か」と尋ねられたら私は「はいそうです」と答えるのと同じです。悪魔はこのような卑劣な罠にかけてイエス様を罪びとにしたのです。

イザヤ書 53:6, 私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かつてな道に向かって行った。しかし、主（父なる神）は、私たちのすべての咎（罪）を彼（キリスト）に負わせた。

キリストを十字架につけて殺したのです。

使徒 13:28, そして、死罪に当たる何の理由も見いだせなかったのに、イエスを殺すことをピラトに強要したのです。

使徒 13:29, こうして、イエスについて書いてあることを全部成し終えて後、イエスを十字架から取り降ろして墓の中に納めました。

使徒 13:30, しかし、神はこの方を死者の中からよみがえらせたのです。

イスラエル人に伝道するにはこの蘇りが決定的に重要です。私たちの罪の身代わりとして十字架で死なれ、死人の中から三日目に蘇られたイエス様にパウロは実際にあったのです。これ以上確かな証拠はありません。

(D)パウロのメッセージの補足

使徒 13:34, 神がイエスを死者の中からよみがえらせて、もはや朽ちることのない方とされたことについては、『わたしはダビデに約束した聖なる確かな祝福を、あなたがたに与える。』というように言われていました。

朽ちることのない方とされた。心臓が止まると肺も止まるので肺から酸素を細胞に送らないので、細胞が朽ちるのです。イエス様は私たちの罪の身代わりとして十字架で死なれ三日間細胞は死んでいたのです。死んで三日もたったイエス様の細胞を生き返らせることは人間には絶対出来ません。神様にしかできません。

私はイエス様を信じて 10 年間毎年、牧師からイエス様の復活の話を聴いていましたがどうしても信じられませんでした。神学校で証拠論という学科がありました。私たちは関ヶ原の戦いは見ていませんが文献によって信じています。世界で 1 番信頼されている文献は聖書です。

ルカ 24:36~43

使徒たちはイエス様と 3 年半も寝食をともしました。そしてイエス様から何回の私たちの罪の身代わりとして十字架で死なれ、死んで三日目に死人の中から蘇る話は何回も聞いていました。しかし実際にイエス様がよみがえって使徒たちのところへ来た時、使徒たちはイエス様の幽霊だと言ったのです。

私はここを読んで使徒たちに親近感を覚えました。信じられないのは私だけではない、イエス様と寝食をともに 3 年半もした使徒たちも信じられなかったのだ。そうしたらイエス様は使徒たちに「幽霊なら手や足はないだろう。私の手や足に触って見なさい」と言われました。

使徒たちはイエス様の手や足に触ってもまだ信じられずにいた時、イエス様はここに何か食べる物はありませんかと尋ねられました。使徒たちが焼き魚を差し上げるとみんなの見える目の前で焼き魚を召しあがられた。焼き魚を食べる幽霊はいないので使徒たちはイエス様が死人の中から蘇られたことを信じた。

ヘブル 9:27, そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、

十字架で死んで三日目によみがえられたイエス様のみ言葉です。

結論

御霊に満たされなさい。

I コリント 3:16, あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。

聖霊様が私のうちに宿っておられることを感謝します。聖霊様が私のうちに宿ってくださっているのも絶対大丈夫です。

【説教:大木英雄牧師】